

科 目 名	情報学				
配 当 学 年	1 年	必修・選択	選択必修	CAP制	対象
授 業 の 種 類	講義	単 位 数	2 単 位	授業回数	15
授 業 担 当 者	萩原 茂樹、石田 雪也、高野 泰洋、 山川 広人		単位認定責任者	萩原 茂樹	
実務経験の有無	有				
実務経験のある教員名および授業の関連内容	企業での情報システム・学修 WEB コンテンツ開発業務の経験を活かし、そのノウハウを活用した授業を展開している。				
授業科目の概要	本講義では、情報活用の実践力を身に付け、情報を科学的に理解し、どのような態度で情報社会に参画するかを学ぶ。具体的には、問題解決、メディアリテラシー、デジタル化などの基礎知識とともに知的財産権などの情報社会学的な側面に触れる。また、マルチメディア技術としてHTMLを学び、さらに、論理的にソフトウェアを構築するためのフローチャートを学ぶ。授業は講義形式で行い、適宜eラーニングでの解説、演習教材も活用する。				
授業科目の到達目標	1. メディアリテラシーについて説明できる。 2. マルチメディア表現及び技術（音声や画像、動画のデジタル化）について説明できる。 3. 知的財産権についての種類、重要性を説明することができる。 4. 基本的なフローチャートの読み書きができる。 5. HTMLを活用し、簡単なホームページが作成できる。				
学修成果評価項目（%）および評価方法	項目	割合	評価方法		
	基礎学力	65 %	小テスト、課題、定期試験		
	専門知識	%			
	倫理観	10 %	小テスト（メディアリテラシー、著作権）、定期試験		
	主体性	15 %	小テスト（メディアリテラシー、デジタル化、知的財産権、著作権）、課題（HTML）		
	論理性	10 %	小テスト（フローチャート）、課題（HTML）、定期試験		
	国際感覚	%			
	協調性	%			
	創造力	%			
	責任感	%			
授業の展開					
1.	論理的思考力とフローチャート —条件分岐と繰り返し処理構造—（担当：高野）				
2.	論理的思考力とフローチャート —配列メモリアクセス処理構造—（担当：高野）				
3.	論理的思考力とフローチャート —応用アルゴリズムと演習—（担当：高野）				
4.	アルゴリズムとその正当性と停止性（担当：萩原）				
5.	アルゴリズムと計算量 —時間計算量と空間計算量—（担当：萩原）				
6.	アルゴリズムと計算量 —例題—（担当：萩原）				
7.	モバイル/ウェアラブルコンピューティング（担当：山川）				
8.	Web とコンピュータネットワークの基礎（担当：山川）				
9.	情報システムの基礎（担当：山川）				
10.	情報セキュリティ（担当：萩原）				
11.	知的財産権（担当：石田）				
12.	著作権（担当：石田）				
13.	メディアリテラシーと著作権の留意点（担当：石田）				
14.	要件定義と設計（担当：石田）				
15.	要件定義の実践（担当：石田）				

授業外学習について	授業外課題については、授業時に説明する。				
教科書	eラーニング及び授業時に配布するプリント				
参考文献					
試験等の実施	定期試験	その他のテスト	課題・レポート	発表・プレゼンテーション	取組状況等
	×	○	○	×	×
成績評価の割合	0 %	50 %	50 %	0 %	0 %
成績評価の基準	<p>本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。</p> <p>秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69点～60点）、不可（59点～0点）</p>				
試験等の実施、成績評価の基準に関する補足事項	定期試験は実施しない。各担当で25点満点の課題を課す。課題内容は各担当より授業時に伝える。				

(情報学)